

認定看護師の役割と活動

第3回 『乳がん看護認定看護師』

北美原クリニック乳腺センター

むらかみよしみ

看護師長 村上佳美 様

令和2年11月掲載

認定看護師とは、ある特定の看護分野において熟練した看護技術と知識をもつ看護師のことをいいます。色々な分野の認定看護師がいる中で、私は「乳がん看護」という分野を専門としています。他の分野は治療に特化していることが多いのに対し、なぜ乳がんなのかということについて、少しお話したいと思います。

乳がんは、女性の罹患する癌の中では一番多い癌であり、女性の11人に1人が乳がんになるといわれています。一方で、死亡率は他の癌に比べて高くはなく、早期に見つけることができれば治癒を期待できる癌でもあります。乳がん検診受診を促す背景はここにあるわけです。また、乳がん罹患する年齢をみると、40歳代後半から急激に患者数が増えてくるという特徴があります。40歳代後半以降というのは、女性の一生において、仕事・子育てなど重要な

時期でもあります。どんなに早期に発見したとしても、乳がんに罹患すると、様々な生活上の変化を経験することになります。実際に仕事や子育てと治療を両立するにはどうしたらよいかと、様々な悩みを抱える方々も多くいらっしゃいます。そのような方々に寄り添い、乳がん治療についての知識を駆使しながら、共にどうしたらよいのかを考えていくのが、私たち乳がん看護認定看護師の役割です。

ここで私自身の活動についてご紹介します。私が勤務しているのはクリニックなので、クリニックに通院している方に対する直接的ケアが、主な活動となっております。乳がん治療に伴う様々な治療選択における意思決定支援や、ボディイメージの変化に対するケアなど行いながら、できるだけその方らしい生活を送れるよう支援しています。また、ゆっくりお話を聴いてほしいという方への看護相談を行ったり、患者さん同士の交流の場として患者会を行うなどもしています（現在は、新型コロナウイルス感染予防のため休止しています）。院外においては、市内の乳がん診療を行っている先生方とともに道南乳腺疾患研究会の世話人として活動しております。いかをシンボルとしたピンクリボンバッチの作成のほか、医療従事者で行う地域乳腺がんサーボードの実施、五稜郭タワーのライトアップ

プや、市民公開講座の開催などを行っております。また、市内のがん関連の認定看護師で構成される道南がん看護研究会へも参加させていただき、様々な分野の認定看護師の皆様とともに、市内のがん看護の質を上げるため、医療者向けの勉強会などを行っております。

私のように、乳がん看護を専門としている認定看護師は市内に 3 名しかおりません。しかし、それぞれの施設におられる他分野の認定看護師の皆様と協力しながら、この地域で暮らす乳がん患者さんが、少しでも安心して過ごせるよう今後も努めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

●現在、函館市内では下記の病院に在職しています●

国立病院機構函館病院・函館五稜郭病院・北美原クリニック